

発行／公益社団法人山梨県看護協会 〒400-0807 甲府市東光寺2丁目25-1 TEL(055)226-4288 FAX(055)222-5988  
発行責任者／佐藤悦子 印刷／有限会社クリップ



早川町／赤沢宿

## 笑顔 スナップ!

**身延町早川町組合立飯富病院**  
身延町早川町組合立飯富病院は専門職として地域に貢献し、長く働き続けられる職場を目指しています。

病棟  
日々精進しています♡



外来・訪問看護  
病院を飛び出し地域でも  
明るい笑顔で頑張ります!



映南ケアホームいいとみ  
職員一同より良い施設を目指し  
頑張っています。

## Contents

2023年度山梨看護学会開催報告	2
研修情報管理システムについて	3
災害支援活動報告	4~5
うちの職場自慢 その71	6
シリーズキャリアアップへの耳寄り情報 No.7	6
ナースのママ・パパ奮闘記 No.58	7
Topic&Information	7
令和5年度 理事会報告	8
INFORMATION／編集後記	8

看護職のあなたをサポート  
会員特典もいろいろ!!  
山梨県看護協会への  
入会手続きはお早めに!!



# 2023年度 山梨看護学会 開催報告

～来館いただき公開収録ができました～ 山梨看護学会 学会委員会 委員長 安藤 晴美

今年度の山梨看護学会のテーマは、昨年度の「看護をつなぐ」からの流れを引き継ぎ、人の生活に焦点が当たるように「暮らしをつなぐ看護」といたしました。開催方法は、12月2日に研究発表とシンポジウムを公開収録し、学会全容を12月11日から12月25日にWeb配信しました。コロナ禍前の通常開催とはいきませんが、公開収録では80名を超える方がご来館いただき、会場の大研修室はほぼ満席、熱気に溢れる状態でした。

研究発表は県内5施設から13演題が寄せられ、日常の看護実践の中からケアの効果を分析したり、疑問を解決したり、看護の意識向上を主眼としたことなど、多岐にわたる内容でした。また、後半には「地域包括ケアにおける情報共有に関する連携」をテーマにシンポジウムが収録されました。退院調整看護師、訪問看護師、保健師、社会福祉士、認定歯科衛生士と、他領域の専門職者にもシンポジストとしてお願いし、連携のあり方について意見交換ができました。この他に、事前収録で秋山正子先生の「拡大する看護の役割～最後まで暮らし続けられる地域づくり～」として、マギーズ東京の活動の紹介も含め、看護の今後の目指す方向性を示していただきました。もう一つは、昨年度、好評をいただきました一言写真です。今年度も皆様の笑顔をお届けすることができました。

参加者アンケートでは、次年度に向けたご意見を賜り、

誠にありがとうございました。また、企画にご協力いただきました方々、研究発表者や発表に至る支援者の方々、そして、ご参加いただきました219人の方々に感謝申し上げます。今後も山梨看護学会が看護職の皆様の発展の一助となりますよう時々のニーズに合った企画、運営に努めてまいります。



## 2023年度 山梨看護学会

### 看護研究奨励賞

受賞者3人から  
メッセージをいただきました

看護師と  
看護補助者の  
協働に向けた  
取り組み



山梨県立中央病院 三枝 美恵

この度は、大変すばらしい賞をいただき心より感謝申し上げます。看護補助者との協働については、まだ課題も多くありますが、今回の研究を機に、協働に対しての取り組みを継続していき、少しでも質の高い看護が提供できるように邁進していきたいと思っています。

医療依存度が  
高い患者への  
在宅介護に向けた  
退院支援



山梨厚生病院 風間 理恵

今回の研究では、病棟看護師として何をすれば良いのか試行錯誤しながら研究に取り組んできました。家族への指導方法や多職種との連携など、沢山のことを学ぶ事が出来ました。今後もこの研究の成果が生かせるよう、日々の看護の中で取り組んでいきたいと思っています。

大変光栄な賞を頂いたことに心より感謝申し上げます。

高齢の  
頸部放射線  
皮膚炎患者への  
保清・保湿指導  
とその結果



市立甲府病院 倉崎 俊行

この度看護研究奨励賞を受賞し、大変光栄に感じております。

放射線皮膚炎の悪化抑制に保清・保湿ケアは大切な要素の一つだと思います。今回の受賞を励みに、これからも患者さんの立場にたち、根拠に基づいた看護に取り組んでいきたいと思っています。

# 研修情報管理システム (EasySeminarイージーセミナー)

## 7月開催研修(受付開始は5月1日～)から運用開始

**マイページ開設  
4月1日より開始**

研修情報管理システム (EasySeminarイージーセミナー) を利用するにあたりマイページを登録していただく必要があります。



### 研修申込から受講までの流れ

**申込期間** 研修開催月の2ヵ月前から20日間

**キャンセル** 申込期間中マイページより可能

**請求** 月1回、お申込み頂いた研修を合算にて請求

**欠席** 開催日前日までにマイページより申請

**支払期間** 研修開催月の1ヵ月前から10日間

**研修当日** 会員証を提示して受付完了

	5月1日 →	5月20日	6月1日 →	6月10日	7月1日 →
<b>申込者</b>	7月開催研修申込期間 (キャンセル可能)		7月開催研修 支払期間	マイページより 受講研修の お知らせを確認	7月開催研修の受講
<b>協会</b>		申込 確認		支払状況 確認	会員証で受付確認を実施



### 研修申込の際によくある質問

- Q** マイページ登録の際にメールアドレスを間違えて入力してしまい確認メールが届きません。もう一度登録しようとしたところ、会員番号が既に登録されているというエラーで再登録できません。
- A** マイページ登録から24時間経つと仮登録が解除され、再度登録することができます。
- Q** マイページ登録後に、メールアドレスを変えました。変更方法を教えてください。
- A** マイページログイン後、登録情報 ⇒ 登録情報変更メニューより登録したメールアドレスの確認と変更が行えます。
- Q** 非会員でマイページ登録後、会員になりました。何か手続きが必要ですか。
- A** マイページログイン後、登録情報 ⇒ 登録情報変更メニューより、会員番号を登録ください。看護協会への入会手続き、会費納入が確認された時点で会員登録とします。会費未納入の場合、受講料は非会員料金となりますので、ご注意ください。
- Q** キャリナースに登録したのに、研修の申し込みができません。
- A** 日本看護協会の「キャリナース」と山梨県看護協会の「研修情報管理システム」は別のものとなります。利用にはそれぞれで初回登録が必要です。
- Q** 申込期間終了後に一部の研修のみキャンセルできますか。
- A** 受講料の請求額が決定し、収納代行サービスへのデータ引き渡しを行うため、キャンセルできません。



研修会場への入場には  
会員証の提示が必要です！

受講料未払いの場合  
来館されても受講できません



# 災害支援活動報告

能登地方



## DMATとしての活動を終えて

都留市立病院 看護師 吉澤 直美



1月1日に発災した石川県能登半島地震をうけ、都留市立病院DMATとして2日～5日まで石川県で活動を行ってきました。発災当日に連絡が入り準備開始、2日に医師2人・看護師2人・ロジ1人で構成し出発しました。3日には拠点病院にて派遣地を確認し活動場所の「柳田温泉病院」に向かいました。(当院DMATを合わせて3隊での活動)

活動場所での私たちの任務は「現地の被災状況調査および病院支援」でした。病院内の状況を確認すると、断水やあちこちの壁が崩れ、一目見ただけで被災の大きさが分かりました。病室のほとんどが使用不可能で患者さん達はデイルームやリハビリ室で1部屋30人程入り雑魚寝状態でした。

またこの病院で働いているスタッフも「自宅が倒壊した」「連絡が取れないスタッフがいる」といった方がほとんどでした。

私達はDMATでミーティングを行い、活動を開始しました。看護師は主に支援活動を行い、日中は食事介助やオムツ交換などを中心に、夜間はスタッフに少しでも休んでもらえるよう交代で夜勤業務を行い負担軽減に努めました。また自分たちが行った支援の活動報告を作成し、現地の状況・ニーズ・自分達が行った支援内容など出来るだけ詳細に記載したものを作成し、後方隊につなげて活動は終了となりました。



今回被災地で実際活動し災害の恐ろしさはもちろんのこと、患者さん・ご家族・スタッフの辛さや悲しみを知りこの活動で得た経験を決して忘れてはいけないと感じました。今後も災害はいつ起こってもおかしくない状況です。日々訓練や自己学習を行い災害に備えていきたいです。

## 災害支援ナースとしての活動を通じて

加納岩総合病院 田口 英幸



2020年より災害看護委員会の委員として、また災害支援ナースとして活動しています。今回、山梨県から災害支援ナースが派遣されるのは東日本大震災以来となりました。看護協会により派遣要請があり、職場の協力や家族の理解もあり、2024年1月13日～16日まで支援に入りました。

支援先は能登町の避難所で高齢者を中心に100人程度の避難者が生活されていました。近年日本全土で様々な災害が起こり、避難所の映像など目の当たりにしてきましたが、実際の現場を前にすると、この状況で自

分に何ができるかという不安がありました。

しかし、活動を始めると、「何をしよう」ではなく「何か出来ることはないか」「何かやらなければ」という意識にかわり、看護はもちろんの事、避難所運営全般において活動する事が出来ました。そして支援最終日には感謝の言葉も頂く事が出来ました。

今回の支援活動を通して、自身の支援がどうであったか、本当に役に立てたのかは分かりませんが、被災された地域の方々が元の生活に戻った時に、災害支援ナースの存在を思い出してくれた時に、今回の支援が意味のあるものになると感じました。

そして災害時の支援には看護以外の多くの支援が必要であることを改めて感じる機会となりました。

最後に今回被災された石川県の方々が少しでも早く復興できます事を願っています。



2024年1月1日に能登半島地震が発生し、山梨県からも災害支援活動に参加しました。その内容について、それぞれの立場から報告していただきます。

## 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)として 能登半島地震災害支援を経験して

中北保健福祉事務所 保坂 理恵



DHEATは、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部や保健所が担う指揮・総合調整機能等を支援するためのチームです。本県では、公衆衛生医師1人、保健師2人と業務連絡員2人の班編制で、能登北部保健所の穴水臨時出張所、穴水町災害保健医療福祉調整本部を拠点に活動を行いました。私達は、フェーズ2～3の亜急性期から慢性期の活動となり、DMATを中心に医療機能支援を行っていた急性期の活動から通常診療が再開し地域の医療体制に戻

っていく時期の活動でした。医療のニーズから、「栄養面の偏り」「入浴ができない」とい



た生活支援や介護ニーズが顕在化してきており、私達保健師は「災害関連死を防ぐ」を活動目標に、各県と中核市から応援派遣された保健師チームが、在宅療養者を巡回し把握した情報の管理や、支援が必要な方へのコーディネートを中心に、日々更新していく地域資源・サービス再開の情報収集、JDAT等現地入りしている保健医療活動チームの巡回場所の活動調整を行いました。また、避難所で発生した感染症の衛生指導や避難者台帳のシステム化やマスク対応等時点で求められる業務も実施しました。被災地の町保健師や石川県保健所のリエゾン職員は多忙を極め、心理的・身体的負担も大きい状況の中、DHEATは情報整理を行いながら、支援チームの活動から被災自治体が連携の中心として動けるような指揮調整の役割が求められます。本県に災害が発生したら・・・受援体制を皆で真剣に考えていく必要性を痛感しました。

## 能登半島地震 災害派遣について

山梨県立中央病院 高度救急救命センター  
DMAT 看護師 三森 寛士



令和6年1月1日16時10分頃、最大震度7の地震が石川県能登地方中心に発生しました。私は自宅に居てニュースで知りました。すぐにDMAT事務局より一斉メールがありDMAT隊員は出動要請に備える指示がありました。当院でも暫定本部がすぐに立ち上がり、立ち上げメンバーとして登院しました。

ニュースなどから被害の大きさに衝撃が走りました。当院ではDMAT出動要請に備えて準備を開始し、翌日1月2日にDMAT出動要請があり山梨県立中央病院DMATチーム1班として医師1人、看護師2人、業務調整員2人で石川県に向けて出動しました。石川県に入ると道路の陥没や崩壊により通行止めがあり時間を要しながら安全に参集場所の公立能登総合病院を目指しました。到着後、翌日より七尾市内の

病院支援や特に被害が大きかった輪島地域で被災病院のスクーリングや患者搬送などの活動を行いました。多くの傷病者の搬送には受け入れ病院の選定やトリアージに時間を要しました。

被災地域ではライフラインの途絶や被災者・医療者の精神的、身体的疲労があり支援物資の調達や医療や看護の代行・調整を行いました。当たり前のことができなくなる災害の中で医療者だけでなく自衛隊や警察、消防、電気業者など様々な機関の方が協力し災害に立ち向かう姿に何とも言えない感情がありました。私は看護師として今出来ることを行うことが、被災地の支援に繋がるという思いで一杯活動しました。活動中は当院の後方支援に支えられ、情報交換することで安全に安心して活動することができました。





「日頃の看護に活かせる研修、研究」と「改善」を多職種連携で  
北杜市立甲陽病院  
総看護師長 西 純子

私たち北杜市立甲陽病院は、県北西部地域の中核病院として急性期・回復期・慢性期の医療を支えています。来院される患者さんは、地域の方々、県外から観光地、別荘地を訪れたの方々です。病院の南に富士山を望み、北は八ヶ岳を麓まで眺め、美しく変化する四季の様子を日々感じながら仕事をしています。勤務形態は、それぞれの生活スタイルに合わせて2交代・3交代を選択し、また、多様な勤務形態で生活と仕事の両立を図っています。

今、現場では「日頃の看護に活かせる研修、研究」と「改善」に多職種連携で力を入れています。全国自治体病院学会の2022年in沖縄では5演題、2023年のin北海道では8演題発表しました。

ナースステーションに設けた「意見箱」には、直ぐにでも勉強が必要なテーマや業務改善課題など様々な提案があり、みんなで取り組んでいます。

甲陽病院の強みは、お互いに補完し合えるチームワーク力です。互いに助け、助けられていることを実感しながら働いています。患者さんの心身を和らげられるよう精一杯、持てる力を出していきたいと思っています。



新人看護師の入職後のリアリティショックを防ぐために  
独立行政法人国立病院機構 甲府病院  
看護部長 小山 陽子

独立行政法人国立病院機構(以下NHO)は、全国に140病院のネットワークをもつ日本最大規模の医療グループで、甲府病院は山梨県内唯一です。NHOは国民の健康を守るため、地域医療への貢献、セーフティーネット系医療の提供が求められており、当院は重症心身障害児(者)(以下、重心)受入病床132床がある計276床の施設です。

当院には毎年20人前後の新人看護師が入職します。新人看護師は入職後3ヶ月程度で、基礎教育と臨床とのギャップ、職場の人間関係や責任の重圧による精神的要因等でリアリティショックに陥ることがあると言われています。当院では、コロナ禍で実習経験が減少したことを機に、リアリティショックを防ぐため、約2か月間のローテーション研修を実施しています。外来を除く全部署を回りながら、実習で不足していた技術演習や患者コミュニケーション等、先輩看護師との交流を通して学ぶことで不安軽減に繋がっています。また同期との仲間づくりの場となり好評です。今後も新人看護師を組織全体で支える職場作りを目指していきます。

## SERIES キャリアアップ への 耳寄り情報

CAREER

No.7

山梨県立大学  
看護実践開発研究センター  
センター長 前澤 美代子

### ▶ 山梨発! 感染管理認定看護師教育課程 (B課程) ◀

2023年4月から特定行為研修を含む感染管理認定看護師教育課程が開始となり、今年度は山梨県内の看護師14人が受講して、全員が修了しました。4月から7月まではe-ラーニングが中心で7月中旬から対面授業が始まり、専門科目の講義および演習を通して、感染管理の専門的な知識や医療関連感染予防のための管理能力や臨床推論力、看護職や多職種との連携ができる力を養います。10月から認定看護師の実習と特定行為研修が始まります。1月には自施設における感染管理・予防上において顕在化された課題について作成し発表することや修了に向けた試験を行います。受講された方たちは、「じっくり看護について考えることができた」「コロナ禍で大変だったけれど、実行したことについてのエビデンスを再認識できた」など、感染管理と看護の大切さとやりがいを実感していました。人生一度きり、この道を選んだからこそ得られるものがあります。



## ナースの ママ・パパ 奮闘記

日々の感謝の気持ちを伝えながら育児と仕事に奮闘している山本さんを紹介します。



## コミュニケーションと感謝の気持ちを大切に

山梨リハビリテーション病院 山本 加奈

今の職場で働き始めて6年が経ちました。昨年初めての出産を経験し、育児休暇を終えて今年職場復帰となりました。1年間の育児休暇はあっという間で、子供の成長は早いと実感しています。1年振りの仕事復帰は不安でしたが、わからないことや新しく変わった事を優しく教えてくれる仲間ばかりで、初日で不安はなくなりました。また、仕事をする中で、患者さんとの関わりが私にとって大切な時間であると改めて感じる事ができました。

日中は毎日子供と一緒にいる時間が当たり前だったため、仕事で子供と離れる時間は寂しく感じますが、お迎えに行った時に笑顔で駆け寄ってくる子どもの姿をみると1日の疲れが吹き飛びます。仕事に育児・家事と、まだ子育てに慣れない中で両立することはとても大変です。夫も同じ職場で勤務しており、職場の託児所を利用しているため送迎も協力し合っています。1人で全て頑張ろうではなく、夫婦でコミュニケーションを取る事を特に大切にしています。日々感謝の気持ちを伝え合いながら、大変なこと・辛いことは共有し、時にはお互い息抜きの時間も取っています。まだまだ新米のママパパですが、奮闘しながらも育児と仕事を楽しみたいと思います。

## Topic & Information

### 御利用者、御家族の暮らしを支えます

韮崎市立病院訪問看護ステーション 管理者 看護師長 清水 かおり

当ステーションは、韮崎市立病院併設の訪問看護ステーションです。令和5年4月1日より開設しました。訪問地域は、韮崎市内や近隣の市を受け入れています。職員は、看護師3人、事務1人の4人のチームです。試行錯誤しながら1年が経過しました。地域の多職種のスタッフと連携をとり、利用者の支援に繋がっています。



利用者は、高齢者がほとんどで、慢性疾患の管理や難病・終末期の方々の自宅へ訪問させて頂いています。24時間対応体制をとり、在宅をサポートし、相談や必要時は訪問を行っています。在宅で終末期を迎えられる方は、訪問診療医師と連携をとり、看取りも行っています。訪問中や相談時に「ありがとう」「助かります」と声をかけて頂き、より一層やりがいを感じるようになりました。また、多職種と対話を行う中で、色々な「思い」を知ることができました。利用者を中心に、その「思い」に最大限寄り沿った看護を提供できるよう地域のチームの一員として、頑張っていきたいと思っています。



# 令和5年度理事会報告

以下について承認されました。

第7回 令和6年1月16日(火)

## 協議事項

1. 令和6年度重点事業について
2. 令和5年度第2回地区支部長・役員合同会議について(案)
3. 令和6年度理事会・地区支部長役員合同会議等開催日程(案)
4. 山梨県看護協会研修情報管理システム利用規程の制定について(案)
5. 資金管理運用規程の一部改正について・新旧対照表(案)
6. 債券の購入について(案)

第8回 令和6年2月13日(火)

## 協議事項

1. 令和6年度事業計画について(案)

第9回 令和6年3月12日(火)

## 協議事項

1. 令和6年度資金収支予算及び収支予算について(案)
2. 令和6年度事業計画について(案)
3. 令和6年度地区支部事業計画について(案)
4. 令和6年度地区支部収支予算について(案)
5. 令和6年度常任・特別委員会諮問事項について(案)
6. 令和6年度山梨県看護協会通常総会プログラムについて(案)
7. 令和5年度補正予算について(案)

## 山梨県看護協会 INFORMATION



公益社団法人 山梨県看護協会

令和6年度

# 通常総会を開催します

\*開催日時 令和6年6月21日(金)午後1:30~ \*会場 山梨県看護教育研修センター

### ■ 2024年度 山梨看護学会の演題募集のお知らせ

演題募集期間：2024年5月1日(水)～5月31日(金)

多数の応募をお待ちしています。

3月中旬以後に山梨県看護協会ホームページに下記の内容を掲載します。

演題募集要項・演題申込書・抄録テックリスト・抄録原稿作成の手引き・学会発表までのスケジュール・利益相反の説明・利益相反報告書等

### ■ 令和6年度 改選役員及び職能委員・推薦委員の立候補について

#### 改選役職名と改選数

1. 役員11人  
副会長候補者1人、理事3人(常任理事1人、助産師職能理事1人、看護師職能理事1人)  
地区理事3人(峡東1人、峡南1人、富士東部1人)  
監事2人
2. 推薦委員6人
3. 職能委員19人(保健師職能3人、助産師職能6人、看護師職能10人)

※立候補する会員は、正会員5人の推薦を受けて、届け出用紙を4月19日までに厳守で推薦委員長あてに郵送してください

### ■ 第46回 看護大会の開催決定!

日時：令和6年5月17日(金) 午後2時～3時30分

場所：甲府市総合市民会館 芸術ホール

内容：一部 表彰 看護功労者知事表彰  
県民の看護師さん表彰

二部 記念講演 玉置妙夏氏

「看護職へのエール！」

～セルフスピリチュアルケアのすすめ～

\*皆様のご参加をお待ちしています

### お気に入りの一枚

ほっと!  
いやされて!



私の趣味は登山です。職場で年に数回、登山イベントを企画しています。医師やセラピスト・MSWなどの職種と絶景を楽しみながら色んな話を話し、心身リフレッシュしています。

投稿者：宮田龍一(白根徳洲会病院)

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ペットに限らずご提供よろしくお願ひします。送信先：senm@yna.or.jp 広報担当

### 【表紙スナップ】

身延町早川町組合立 飯富病院

「地域と共に」を合言葉に、この地に住む人々の生活を支える看護に取り組んでいます。

「ときどき入院、ほぼ在宅」を実践すべく、急性期から在宅までの多様な場で最善の看護を提供できるように努めています。



### 編集 後記

温かい季節となり、いよいよ春本番ですね。ご自身の異動・転勤や、ご家族の卒業など新生活が始まった方も多いと思います。

街中ではマスクを外している人も増え、少しずつコロナ前の日常が戻ってきたと感じられます。

外出の際には基本的な感染対策を引き続き行い春を満喫しましょう!!